

# 7月の果実の見通し

令和3年6月30日現在  
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
おうとう	山形 北海道 など	361	80%	412	1884	高い	1597	282	78.1%	山形産「佐藤錦」は6月下旬にはほぼ終了。「紅秀峰」販売6月下旬からスタートする。天候により被害あり「佐藤錦」ほどではないが出荷量は平年よりも少ない。秋田産は6月中旬頃から出荷が始まったが昨年の大雪被害による後遺症が大きく平年の半分以下の見込みである。
もも類	山梨 福島 など	5108	105%	5484	739	安い～平 年並み	683	12	0.2%	山梨産の6月は昨年より3～4日早いペースでスタート。作柄は例年並み。しかし早場産地の「日川白鳳」は6月で終了するため、例年から比較すると10日ほど早いペースで進んでいる。6月は雨が少なかったため、若干小玉傾向となった。「白鳳」のピークは7月8日前後からで「なつっこ」は20日前後よりスタートする予定で非常に速い品種展開になっている。福島産は6月下旬から始まり主力の「あかつき」は20日前後から始まる。
ぶどう類	山形 山梨 など	1158	95%	1260	1567	高い～平 年並み	1400	526	45.4%	山梨産「シャインマスカット」の出荷が増加していく。「ピオーネ」「巨峰」は若干減少の見込み。「露地デラウェア」は生育順調で下旬よりスタートする。島根産は7月上旬で終了予定。山形産は6月24日頃よりスタート。ピークは7月下旬頃からの見込みではあるが、春先の霜害により1割ほど減少の見込み。岡山産は7月より全体的に増加傾向となる。天候により「シャインマスカット」が遅れていた分、上旬には多くなる見込み。「シャインマスカット」の作付けは増加しているが、他品種はほぼ横ばい。
すいか類	長野 山形 など	11591	95%	11760	186	高い	204	2417	20.9%	千葉・鳥取産は7月上旬がピーク。生育が早く推移したため切り上がりは早い。後続産地の新潟産が7月上旬よりスタート。ピークは15日頃。山形・長野産は中旬以降より入荷。茨城産「こだま西瓜」は7月10日頃終了。和歌山産「こだま西瓜」は7月20日頃終了。今後の梅雨明けの状況や気温次第ではあるが、前進出荷のため数量は少なく推移する見通し。
メロン類	千葉 北海道 山形 など	3505	95%	3534	454	高い～平 年並み	446	1213	34.6%	茨城産から山形・青森・北海道産へと産地は切り替わっている。若干早めの出荷となってはいるが、作柄はそれほど昨年と変わらずにきている。肥大はそれほどでもないが2L中心。6月の天候は良く作柄は安定している。ただ全国的に主産者数、生産面積は減少しており、出荷量は昨年よりも少ない見通し。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)